

# 図書館通信 11月号 宇東図書館委員会

二学期も後半に入りました。10月には多くの運動部が新人戦に参加し、新体制での練習の成果を十分に発揮したことでしょう。11月16・17日には、愛媛県高等学校総合文化祭も開催されます。文化部の皆さんの健闘も期待しています。

今月号は、スポーツに励む学生たちの姿を描いた3冊の本を紹介します。



## 『風が強く吹いている』 三浦しをん 著

箱根駅伝を走りたい——。そんな灰二の思いが天才ランナー、走と出会って動き出す。駅伝とは何か？走るとはどういうことか？10人の個性あふれるメンバーが、自分の限界に挑戦し、襷<sup>たすき</sup>を繋ぐ<sup>つな</sup>ぐために無我夢中で走る。「速く」ではなく「強く」——。純度100%の疾走青春小説。



## 『卒業ホームラン』 重松清 著

少年野球チームに所属する智は、こつこつ努力しているのにいつも補欠。智の父親で、チームの監督でもある徹夫は、「がんばれば必ず報われる」といつも教えてきたが、卒業試合に智を使うべきか悩んでいた——。

忘れられない転校生との友情を描く「エビスくん」、新作「また次の春へ」を含む短編集、重松清自身が選んだ入門の一冊。



## 『武士道シックスティーン』 誉田哲也 著

3歳から剣道に打ち込み、宮本武蔵を心の師とする香織は、無名選手だった早苗に中学最後の試合で負けてしまう。勝敗に固執する香織は、敗北の悔しさを片時も忘れられなかった。

2人は、同じ高校の剣道部で中学最後の地区大会以来の再開を果たすが——。さあ、始めよう。わたしたちの戦いを。わたしたちの時代を。

## ～図書室の2階に特設コーナーを作りました！！～



図書館の2階に行ったことがありますか？実は、図書館の2階にも様々な分野の心躍る本があります。ぜひ、階段を上がってみてください。



宇中文庫の隣に、特設コーナーを設置しました。今月は、『君の名は。』や『この世界の片隅に』など、映画化された小説を特集しています！

階段の踊り場には、「読み継がれる 日本&世界文学 名著」をまとめています。皆さんが国語の教科書でも読んだことのある有名な文学がたくさんそろっています。

